

科目名	経営と戦略1			ナンバリング	BUS141	授業形態	講義
対象学年	2 年	開講時期	前期	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	山口憲二	担当教員	裴鍾民(ペ ジョンミン)				

授業の概要	本科目の目的は、経営戦略の基本的な概念を理解すると共に、経営における問題解決のアプローチを修得することである。						
到達目標	1. 経営学の基礎的事項のうち、戦略の分野に関する基本用語を理解し、基本概念を説明することができる。 2. 経営の問題解決について、その基盤となる戦略の考え方を、例を挙げて説明することができる。 3. 授業内容に関連した問題意識を持ち、それをレポートにまとめて口頭発表ができる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	普段から、新聞、テレビ、ラジオ、ネットなどで経済・ビジネスのニュースに関心及び疑問を持つようにすること。						
ディプロマポリシーとの 関連	【教養学部 地域教養学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 専攻分野それぞれの基礎的な知識を確実に身につけ、それらを活用して基本的な問題を解決することができる。					
		2. 専攻分野それぞれの基本的スキルを、地域社会に貢献するために活用することができる。					
	○	3. 自分の意見や考えを説明し、他者と協調して積極的にコミュニケーションをとることができる。					
		4. 広い視野と論理的・批判的思考力を身につけ、困難な課題や予測不能な事態に直面しても適切に対処することができる。					
		5. 社会の一員としての自覚を持ち、社会生活の場において、地域を支える社会人・職業人としてふさわし関心・意欲・態度を示すことができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. 経営学の基礎的事項のうち、戦略の分野に関する基本用語、基本概念を理解することができる。 2. 経営の問題解決について、その基盤となる戦略の考え方を説明することができる。 3. 授業内容に関連した問題意識を持ち、それをレポートにまとめて口頭発表ができる。	左記の項目について、専門用語を正しく使いながら説明し、3についてはオリジナルで鋭いテーマ設定ができること。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)							
小テスト・授業内レポート	○	○	○		○		60%
宿題・授業外レポート		○	○				20%
授業態度・授業への参加				○			20%

課題、評価のフィードバック	各自に口頭でコメントする。
---------------	---------------

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	イントロダクション	授業の目的と問題意識、学修動機の共有を行う。	山口憲二
	第2回	戦略および戦略的という意味の理解	ビジネスの世界でよくつかわれる「戦略」ということばの意味を理解する。	山口憲二
	第3回	戦略的であるための条件	①事実に基づく、②重点を決める、③全体最適の3つの条件を理解する。	山口憲二
	第4回	ビジネスモデル、事業システム	ビジネスモデルに関する抽象的理解と具体的理解、事例研究を行う。	山口憲二
	第5回	リーダーシップ論からの経営戦略	経営戦略とリーダーシップに関わる理論を中心に説明する。	裴鍾民(ペ ジョンミン)
	第6回	市場分析と経営戦略	市場分析と経営戦略についての考え方を説明する。	裴鍾民(ペ ジョンミン)
	第7回	観光業の経営戦略	観光業の事例を中心に経営戦略を説明する。	裴鍾民(ペ ジョンミン)
	第8回	IT企業の経営戦略	IT企業の事例を中心に経営戦略を説明する。	裴鍾民(ペ ジョンミン)
	第9回	地域エコシステムと経営戦略	地域エコシステムの事例を中心に経営戦略を説明する。	裴鍾民(ペ ジョンミン)
	第10回	インターナル・マーケティングとリーダーシップ	「自社の従業員や同僚を顧客と考える」ということの意味を理解する。 そこでの商品は「仕事」であり、そのような組織をつくるリーダーシップの概念も使いながら理解する。	山口憲二
	第11回	戦略立案のフレームワーク	3C、SWOT、PEST、3M、7Sなど、定番の戦略立案フレームワークを理解する。	山口憲二
	第12回	マーケティングのフレームワーク	STP、ポジショニングマップ、4P、プロダクトアウト・マーケットインなど、定番のマーケティングフレームワークを理解する。	山口憲二
	第13回	問題解決のフレームワーク	ギャップ分析、特性要因図、ロジックツリー、期待／課題マトリクスなど、定番の問題解決フレームワークを理解する。	山口憲二
	第14回	マネジメントのフレームワーク	マネジメント・ヒエラルキー、PDCA、QCD、5W1Hなど、定番のマネジメントフレームワークを理解する。	山口憲二
	第15回	レポートのプレゼンテーション	各自がレポート内容を口頭発表し、教員からコメントを受ける。	山口憲二
	試験	定期試験は実施しない。		
授業の進め方		講義と事例研究のための映像視聴、質疑応答。		
授業外学習の指示		レポートテーマについて常に考えておき、授業時間外にレポートを作成しなければならない。 (授業外学習時間： 毎週 90 分)		

教科書	使用しない。
参考書	早稲田大学ビジネススクール『ビジネスマンの基礎知識としてのMBA入門』日経BP社、ISBN978-4-8222-4900-7 堀 公俊『ビジネス・フレームワーク』日経文庫ビジュアル、日本経済新聞社、ISBN978-4-532-11927-0
参考URLなど	
その他	